

## わが家の約束、ありますか？



こんなことありませんか・・・？

5歳のだいちゃんくんは、幼稚園に通う元気な男の子です。毎朝自分で起きてくるので、お母さんは安心です。「お腹すいたー。」と、朝ごはんも、もりもり食べます。

ごはんを食べたら、自分で台所までお茶わんやコップを持っていくことが、家族の中の約束になっています。今日も「ごちそうさまでした。」と言って、台所まで運びました。

お母さんは、一度にお茶わん洗いができるので、とっても助かっています。



ワーク1

みなさんが「うちの子には、こんな力をつけたい。」と思っていることを出し合いましょう。



.....

.....

.....

.....



ワーク2

みなさんが「我が家の約束」として実践していること、またそれを定着させる工夫を交流しましょう。





---



---



---

◇他の方の意見をメモしましょう！


いいね！


いいね！

今日気がついたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？



今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



「やってみせて、言って聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」

昔の人は、うまく言うもんじゃなあ。約束したから、すぐにできるようになるとは限らん。時間と愛情をかけて、根気よく見守ることじゃよ。

◇「わが家の約束」って、なんだろう。

資料1 約束ってだれのためにあるんだろう。

子どもたちは、  
家庭での約束を守ったり破ったりしながら、  
人との関係の在り方や社会のルールの  
大切さを学んでいきます。

生活上の約束

あいさつ・家に帰る時間・寝る時間  
きちんとした姿勢 など

道徳上の約束

他人に迷惑をかけない  
うそをつかない など

しっかりと身に付けさせるために

- ◇一貫性をもたせ、家族でよく相談してはっきりとした約束をつくりましょう。
- ◇子どもとともに親もそれを守りましょう。
- ◇子どもの意見を聞いて、一緒につくるという姿勢も大切です。



親子でつくろう我が家のルール

平成21年7月に家庭で話し合うことの大切さを呼びかける  
「親子でつくろう我が家のルール」運動を推進するため、  
標語募集並びに優れた作品についての選定・表彰を行いました。

「朝が来た!!  
早起き・お散歩・おいしいごはん」

「9じまでに  
ふとんにはいるよ あしたもげんき!」

「まもろうね  
ちいさなやくそく わすれずに」

「ありがとう  
今日は何回 言えるかな」

「『ねえ、あのね!』  
はなす心 きくきもち」

「助け合い  
家族ではぐくむ思いやり」

「がんばったね。できたね。よかったね。  
うれしいたね(種)が集まったね。」



出典：平成22年版家庭教育手帳一乳幼児編（ドキドキ子育て）

([https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2010/09/15/1246190\\_4.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/09/15/1246190_4.pdf)) をもとに作成

## 資料2 どんな約束ができるかな？

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の実践を見てみると・・・

- ・ 毎朝歯みがきをしよう
- ・ 「おはよう」を言おう（挨拶）
- ・ 「ありがとう」を言おう（お礼）
- ・ くつをそろえよう
- ・ お風呂で脱いだ服はかごに入れよう
- ・ ご飯は好き嫌いを言わずに食べよう
- ・ ご飯を食べ終わったら食器を運ぼう
- ・ 洗濯物をたたもう、食事後の食卓を拭こう、野菜を洗おう
- ・ 顔を洗おう
- ・ ○時に寝よう（起きよう）
- ・ お友達と仲良くしよう
- ・ 外から帰ったら手を洗おう
- ・ 新聞を取ってこよう 等（お手伝い＝上手にできなくてもよい）



「約束」というと、厳しい響きがありますが、どのきめごとにも、「きちんとした生活を送り、思いやりや責任感があり、人とコミュニケーションができる人になってほしい。」という親としての願いが込められています。

## 資料3 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動に取り組む保護者の皆様へ

ちょっとした約束ごとであっても、続けていくというのは、大人でも難しいものです。でも、約束したことをきちんと守り続けることができれば「できた！」という自信が芽生えることでしょう。

そうした子どものがんばりに対して、いつも声をかけてあげてください。保護者からの声かけがあると、子どもは「自分のことを見守ってくれているんだ」という安心感をもつことができます。また、大切な家族から見守られ認められることは、子どもの自信をさらに強くしてくれます。家庭のなかで安心感と自信をもって穏やかにすごすことが、次の取組のやる気へとつながっていきます。

ひょっとしたら、約束を守れない日があるかもしれません。そんなときでも叱るのではなく守れるように励ましの声かけをしてください。自分で守ろうという気持ちを持てるような励ましの言葉が、子どものやる気を引き出してくれると思います。

資料4 「話そう！語ろう！わが家の約束」カード（幼児用）

お子さんが「わがやのやくそく」を自分から守ることができるように  
 お子さんのがんばりを認め、褒めることを大切にしましょう。

「はなそう！かたろう！わがやのやくそく」カード

なまえ



わがやのやくそく

ひにち	/	/	/	/	/	/	/
がんばっ たよ!							

シールをはってもいいですね。たっぷりほめてあげてください。



ことばや えで きもちを つたえましょう

こどもから おうちのかたへ

おうちのかたから こどもへ